



ロータリーをもっと学ぼう明日のために

本日のプログラム

「メインバンクは頼りになるか」

函館信用金庫 理事長 上條 博英 氏

次週のプログラム 5月5日(火)

「祝日休会」

5月12日(火) 観桜会 於 旬花 pm6:30

2014~2015年度 会長 五十嵐 稔

- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長/五十嵐稔 ●副会長/森元浩 ●会長エレクト/宮崎あけみ
- 幹事/國谷大輔 ●副幹事/佐藤美子
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

第2798回例会 2015年4月21日(火) 天候 晴

月間テーマ 雑誌 月間

■ロータリーソング それでこそロータリー

■司会 五十嵐 稔 会長

■会長報告

1、4月16日(木)10・11グループ第5回会長幹事会が開催されました。

■幹事報告

1、長崎東RCより会報が届きましたので回覧いたします。

2、4月30日(木)函館RC、5月1日(金)函館五稜郭RCの例会はそれぞれ自主休会に変更いたします。

3、例会終了後、臨時理事会を開催いたします。

## 「津軽海峡に夢かける」

本州・北海道架橋を考える会 代表幹事 福西 秀和 氏

新幹線がいよいよ来年3月、北海道は新函館駅まで開通する。青森、盛岡、仙台、そして函館までのアクセスがきわめて困難であった北関東との交流を促進させる大きな起爆剤であり、その経済効果は相当なものであろう。このことは、交流機会の増大を望んできた本州・



北海道架橋を考える会にとって待ち望んできたことであり、低迷している日本経済のなか、静かな運動を余儀なくされてきた我々にとってまさに一筋の光明が差し込んできた。何故ならば、会のために新幹線誘致運動の邪魔をしてはならないと明記してあるからである。これからは、今まで、新幹線問題が解決している青森との温度差があった本道側の行政官庁の問題もようやく緩和され、同じ土俵に立つことができる。そして我々の本州・北海道架橋を考える会としても漸く新幹線問題に遠慮することなく行動することができるからであ

る。

さて、ここから架橋の話題を提供させていただく。今まで2回に渡り海外の海峡横断道路の視察をしてきた。それには工事中のものから完成されたものそして、未だ、計画段階のものまでにおよび、幅広く考察する機会であった。その中でタイミング良く工事中から完成され供用されたものとしてデンマークの海峡横断道路を紹介させていただく。

ヨーロッパのデンマークは皆さんのご承知の通り人工はわが北海道と同じくらい。そして、国土面積は約43千平方キロメートルであり、ユトランド半島、フン等、首都コペンハーゲンのあるシェラン等、その他たくさんの島で構成される海洋国家である。国内の主要な島々は16世紀ころから船で結ばれてきた。

1935年にユトランド半島とフン島がリトベルト橋で結ばれ、その後、人口を二分するフン島とシェラン島を結ぶグレートベルト橋の計画がなされた。第2次世界大戦のため中止を余儀なくされ、戦後の1948年に官民合同の委員会の立ち上げを再スタートとし、爾来、幾多の政治的、経済的、国民的試練を乗り越え全延長17.5キロのグレートベルトリンクが完成された。計画から完成まで50年、その前の時代を含めれば、65年のながきにわたって幾多の紆余曲折を超えての完成である。事業主体は政府全額出資による第3セクターである。建設費は、40億米ドルであり、借入金に対しては国家の保証がついていることから、かなり安い金利で資金が調達された。資金は70パーセントがヨーロッパで調達され自国の資金は30パーセントである。この事業の完成でデンマークは、グレートベルト、リトベルト橋を通じヨーロッパと陸続きになったのである。

このグレートベルトリンクの実現には長い時間がかかったため、事業化のために相当の工事の縮減が求められた。そのために、随所に新しい技術

